



令和 8 年 9 月号



緊急消防援助隊  
National Fire Service Team for Disaster Response

## この号の内容

ページ 1 ～ 2

令和 8 年度 緊急消防援助隊  
宮城県大隊後方支援訓練

ページ 3 ～ 5

第 54 回東北地区支部消防救助技術指導会  
第 54 回全国消防救助技術大会

ページ 6

救急医療週間

あぶくま消防本部  
警防課だより  
【広報誌】

# 令和8年度 緊急消防援助隊 宮城県大隊後方支援訓練

令和8年7月9日（木）、宮城県消防学校において令和8年度緊急消防援助隊宮城県大隊後方支援訓練が実施されました。

本訓練は、他県で大規模な災害が発生した際に、緊急消防援助隊宮城県大隊の後方支援活動(人員及び資機材搬送、燃料調達、食料調達及び宿営場所の設営等)が、円滑かつ安全な活動を可能とする後方支援体制を構築することを目的として、毎年実施されており、今年度も宮城県及び県内各消防本部(局)が参加し、訓練が行われました。





【仙南ブロック結団式】



【進出開始】



【エアーテント設営】



【給食スペース設営】



【支援車取扱訓練】



【資機材展示】

# 第 54 回東北地区支部消防救助技術指導会

## 第 54 回全国消防救助技術大会

第 50 回宮城県消防救助技術指導会において、好成績を収めた、当本部の引揚救助チーム及びほふく救出チームが、新潟市で開催された第 54 回東北地区支部消防救助技術指導会( 7 月 2 9 日)、第 54 回全国消防救助技術大会( 8 月 2 2 日)にそれぞれ出場しました。



NATIONAL RESCUE MEET  
54<sup>TH</sup> NIIGATA

たす  
毘ける -ともに、まだ見ぬ新時代へ-

## ・引揚救助とは？

地下道やマンホール、縦穴などの災害現場を想定し、5人1組のチームで行います。隊員が空気呼吸器を着装して降下、要救助者を検索し、救出口ーブにて地上（塔上）へ引揚げて救出する訓練です。



【隊員降下】



【要救助者検索】



【要救助者引揚げ】

## ・ほふく救出とは？

ビルや地下街などの濃煙が充満した空間を想定し、3人1組のチームで行います。隊員が空気呼吸器を装着し、ほふく（這う）姿勢で煙道内に入して要救助者を検索し、救出する訓練です。



【呼吸器着装】



【要救助者結索】



【要救助者搬送】

※全国大会に向けた訓練風景です。（岩沼消防署）



【引揚救助 庄司隊員チーム】



【ほふく救出 櫻井隊員チーム】

消防救助技術指導会とは、消防職員（救助隊員）が日頃鍛え抜いた人命救助の技術やスピード、安全性などを競い合い、披露する大会です。目的は、救助活動に欠かせない体力・精神力・技術力を高め、他の模範となる隊員を育てることにあります。

今年度、あぶくま消防本部からは、引揚救助・ほふく救出の2チームが県大会を突破し、東北大会・全国大会出場という成績を収めることができました。

今後も隊員は、【安全・確実・迅速】な消防救助活動の技術向上に務めると共に、訓練で培った体力、精神力及び技術を実災害で十分に発揮できるよう、日々訓練に励んでまいります。

# 救急医療週間

救急医療及び救急業務に対する国民の正しい理解と知識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、国では 9 月 9 日を「救急の日」とし、また、令和 8 年度は救急の日を含む 9 月 6 日（日）から 9 月 12 日（土）までの 1 週間を「救急医療週間」と定めています。救急医療・救急車の適正な利用をお願いします。

